

チェスト! FOR THE BLUE かがしま

鹿児島においても、MBC南日本放送が事務局となり、「CHANGE FOR THE BLUE 鹿児島実行委員会」を立ち上げ、本プロジェクトに取り組んでいます。その活動の総称を「チェスト! FOR THE BLUE かがしま」といいます。

「チェスト!」とは
 鹿児島弁で気合いを入れるときや、応援の声掛けです。
 「鹿児島県から世界の海を守る為に頑張ろう!」という旗印に、
 「チェスト! FOR THE BLUE かがしま」とつけました。

チェスト! FOR THE BLUE かがしま2021の取り組み

薩長海ごみゼロ同盟

ごみ拾いの陣

薩長海ごみゼロ同盟とは...

「薩長海ごみゼロ同盟」は、幕末の近代化に手を組んだ薩摩と長州の「薩長同盟」から取ったものです。国の安泰に向けて突き進んだ、薩摩と長州。時代は進み、環境問題、そして海洋ごみによる生態系への影響が叫ばれる中、今一度、鹿児島県と山口県が手を組み、両県から日本の海を、そして世界の海を未来に残すべく、ムーブメントを起こそうと開催されました。

ごみ拾いの陣

「ごみ拾いの陣」と題して鹿児島・山口の両県同日開催で、ごみ拾いを開催しました。鹿児島県は、磯海水浴場にて開催。山口県は、美濃ヶ浜海浜広場にて開催しました。今回、「Rethink」をキーワードにこれまでにない視点や考え方を活かして、パートナーのみなさまと「新しい明日」をともに創りあげるために社会課題と向きあうプロジェクトを行う、Rethink PROJECT にもご協力いただき、企業、団体、一般の方を合わせて45名の方にご参加いただきました。協力：Rethink PROJECT



山口県で「拾い箱」出前授業 & 設置

「拾い箱」の発起人である与論島の池田龍介さんに山口県で、出前授業を行っていただきました。授業を通して理解が深まった児童らに、オリジナルの「拾い箱」を作るためペインティングを行ってほしい、世界に一つだけの「拾い箱」を設置することができました。児童にとって、地元を未来に残すにはどう行動すればいいか、考えるきっかけとなりました。



海ごみゼロ! ナイトアクアリウム 「薩長トークセッション」

夜の水族館で生き物たちの様子を観察してもらうとともに、世界で問題となっている海洋ごみについて広く知ってもらおうと開かれるイベントで、今回は、鹿児島と山口から漂着物の専門家が登壇し、それぞれの地域のごみの特徴や海ごみとはどのようなものかについて話しました。また、拾い箱発起人の池田さんにも登壇してもらい、継続すること、誰かと手を組むことの大切さなどを話してもらいました。参加者たちは、夜の水族館を楽しみながら海洋ごみ削減に向けた意識を高めていました。



海ごみゼロウィーク

UMIGOMI Zero WEEK



▲神瀬灯台清掃活動

海洋ごみ対策を目的とした全国一斉清掃キャンペーン「海ごみゼロウィーク」が5月30日(ごみゼロの日)から6月5日(環境の日)を経て6月8日(世界海洋デー)までの前後の期間を「海ごみゼロウィーク」と定め、全国一斉の清掃活動を実施することで、海洋ごみの周知とともに、海洋ごみの流出を少しでも防ぐことを狙いとして実施しました。秋には、観光遊覧船クイーンズしりやまに乗船し、神瀬灯台に上陸し、一般参加、ボランティア合わせておよそ45名で清掃活動を行いました。



全国30エリアの高校生が各エリアでごみ拾いを競い合い、「高校生ごみ拾い日本一!」を決める大会です。3名でチームを組み、競技時間の60分間で予め決められた競技エリア内のごみを拾い、その質と量を競い合う地球に最もやさしいスポーツです。全国大会では、見事、鹿児島県代表「あいちゃん劇団」がオリジナルアイテム賞を受賞しました。

連携団体：スポGOMI連盟



ミッドウェーver.

民間企業の協賛で、海洋ごみの現状を周知するラジオ・テレビスポットの制作・放送



拾い箱ver.



海洋ごみ啓発
 ラジオ・テレビ
 スポット

拾い箱プロジェクト



CHANGE FOR THE BLUE 鹿児島実行委員会では、与論町で始まった「拾い箱」の活動を参考に、海を訪れた人が拾った海ごみをいつでも捨てる事ができる「拾い箱」を県内海岸に設置する活動を実施しております。

第一弾として、2020年8月1日(土)より、鹿児島市磯海水浴場での「拾い箱」運用を開始しました。

鹿児島県内の、総延長2,722kmにも及ぶ海岸線には、日々多くの海洋ごみが打ち上げられています。そこで、「拾い箱」という海ごみ専用のごみ箱を用意し、海岸散策等で訪れた方が、少人数でも海岸清掃活動に取り組む事ができるよう、「拾い箱」専用のごみ袋も準備し、2021年度は、2020年度に設置した、鹿児島市、垂水市、南さつま市に加え、6月6日(日)に始良市設置、今後鹿児島市喜入町での設置も予定しております。

始良市と鹿児島市喜入町は、住民の方の海をキレイにしたいというお声掛けから、設置することになりました。

「拾い箱について知りたい」、「拾い箱を設置してほしい!」等、詳しくは、CHANGE FOR THE BLUE 鹿児島実行委員会まで、お問い合わせください。



企業連携モデル

宇都酒造株式会社 海底貯蔵焼酎

- 宇都酒造と連携して、海底貯蔵焼酎を開発
- ふるさとのおいしい海に思いを馳せることができる焼酎を作れば、海底で貯蔵されました。



株式会社城山ストア 海のごちそう弁当

- 海のごちそう弁当を通じて、海の恵みに感謝し、海をキレイにしようという意識が高まってほしいと作られました。パッケージには、プラスチックではなく紙でできたお弁当のトレーを使用し、パッケージを飾る表紙の裏には、海と日本プロジェクトのイベントに参加した子どもたちの作文が掲載されています。城山ストア各店舗、数量限定で販売しています。

